

空想傾向と共感的コーピングが 心理的ストレス反応に及ぼす影響

○平田 久子・岩永 誠
(広島大学大学院総合科学研究科)

問題と目的

Wilson & Barber (1981) は空想への深い没頭の特徴づけられたパーソナリティ特性を空想傾向 (fantasy proneness) と名付けた。空想と共感性は関連があるといわれており, fantasy-prone person は「他者に対する共感性がきわめて高い」という特徴をもつ。松井・児玉・岡田 (2007) では, 空想傾向が社会的スキルに与える影響は, 共感性によって左右されることを明らかにしている。加藤 (2002) は, 共感的コーピングは他者に肯定的感情を抱かせることから心理的ストレスを軽減すると述べている。これらのことから, 共感的コーピングは空想傾向のポジティブな働きを促すことが予想できる。

本研究では, 空想傾向のポジティブ・ネガティブ効果に着目し, 空想傾向が共感的コーピングの採用を介して心理的ストレス反応に及ぼす影響を検討し, 空想傾向のネガティブ・ポジティブ効果が精神的健康に及ぼす影響を探索することを目的とした。

方 法

対象者 A 大学と B 大学の大学生 434 名 (男性 199 名, 女性 233 名, 不明 2 名, 平均年齢 19.5 歳 (SD=1.80))。
手続き 質問紙を用いた調査。大学での講義の最後に調査用紙を配布し, その場で回答を求める, または質問紙を持ち帰らせて回答させた。

質問紙の構成 (1) 空想傾向: Creative Experience Questionnaire 日本語版 (CEQ-J) (岡田・松岡・轟木, 2004) 25 項目のうち 22 項目, 0-5 の 6 件法。(2) 共感的コーピング: 共感的コーピング尺度 (加藤, 2002) 10 項目, 0-5 の 6 件法。(3) ストレス反応: Public Health Research Foundation ストレスチェックリスト・ショートフォーム (今津ら, 2006) 24 項目, 0-5 の 6 件法。

結 果

因子分析 全ての尺度について主因子法・プロマックス回転で因子分析を行った。空想傾向は, 「子どもの頃の体験」「空想の鮮やかさ」「想起力の高さによる体験」因子

の 3 因子が抽出された。共感的コーピングは「認知・情動的コーピング」「行動的コーピング」の 2 因子であった。ストレス反応は, 「不安・不確実感・不信」「疲労・身体反応」「自律神経症状」「不快な気分」の 4 因子であった。いずれの因子においても α 係数は .70 以上であり, 比較的高い内の一貫性を示すことが確認できた。各因子の平均を下位尺度得点とした。**空想傾向がストレス反応に及ぼす影響と共感的コーピング** 空想傾向の下位尺度ごとに不安・不確実感・不信, 疲労・身体反応, 自律神経症状, 不快な気分を目的変数とした階層的重回帰分析を実施した。全ての説明変数は標準化した数値を用い, 有意な関連が見られた結果を Table 1 に示した。

子どもの頃の体験, 空想の鮮やかさについては交互作用項及び決定係数の増分が有意ではなかった。想起力の高さによる体験について, 自律神経症状において想起力の高さによる体験と認知・情動的コーピングの交互作用項が有意であったことから, 単純傾斜分析を行った。その結果, 認知・情動的コーピングの高低によらず想起力の高さによる体験の有意な効果が見られ, 低い場合で傾きが大きかった (高い場合: $\beta = .24, p = .00$, 低い場合: $\beta = .49, p = .00$)。

考 察

本研究の結果, 空想傾向は認知・情動的コーピングを行ったときに媒介的にストレス反応に影響することがわかった。想起力の高さによる体験が不安・不確実感・不信や疲労・身体反応よりも自律神経症状に影響を与えていることから, 空想傾向の高い人は相手の立場を場面想起により理解することが得意であるため, 対人ストレスを感じるような場面であっても生理的な覚醒にまでは至ることが少ないのではないかと思われる。

Table 1 想起力の高さによる体験における認知・情動的コーピングの階層的重回帰分析の結果

	不安・不確実感・不信		疲労・身体反応		自律神経症状		不快な気分	
	β	ΔR^2	β	ΔR^2	β	ΔR^2	β	ΔR^2
Step 2 想起力の高さによる体験	.20***		.23***		.37***		.22***	
認知・情動的コーピング	-.10*		-.03		-.10*		-.03	
想起力の高さによる体験 × 認知・情動的コーピング	-.02	.00	-.08	.01	-.13**	.02**	-.02	.00
R^2	.04**		.05***		.13***		.04***	

† $p < .10$, * $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$